

2015年4月号
2015.4.10
NO.125-1

AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



トピックス



地域創生に向けて ～第4期中期計画スタート～

早いもので四国センター所長としての務めも1年が経ちました。この間、多くの方から寄せられましたご厚情に対して感謝申し上げます。

さて、産総研はこの4月から第4期中期5ヶ年計画をスタートさせます。10年後に花開く革新的な研究に注力することはもちろん、第4期では研究成果を産業界に移転し、社会で使って頂ける製品に仕上げることを目指します。産総研に限らず大学の基礎研究も積極的に取り入れて移転します。このため、大学と産総研、産総研と企業との間に橋を架けるとの意味を込めた「テクノブリッジ活動」、大学と産総研の両方に籍をおく人事交流（クロスアポイントメント）等を進めて参ります。また、第4期の重点目標である「地域創生」のため、公設試、産業振興団体、自治体、四国経済産業局などの皆様と協働作業で汗をかいていきます。



四国センター所長
田尾 博明

研究者は、自分の開発した技術が社会で使われることを目にするには、わが子が成長し社会に貢献できる人物になった姿をみるが如く嬉しいものです。研究に対して高いモチベーションを維持しつつ、「テクノブリッジが未来への懸け橋Bridge to the Future（弊所理事長）」となるよう活動して参ります。皆様方のご協力をお願い申し上げます。



トピックス



健康工学研究部門長に達 吉郎が就任しました



健康工学研究部門長
達 吉郎

平成27年4月に、健康工学研究部門、ヒューマンライフテクノロジー研究部門、バイオメディカル研究部門を再編し、医療機器・ヘルスケア技術に関係するメンバーが合流し、新たな健康工学研究部門として研究・開発を開始しました。

健康工学研究部門では、持続可能な社会の中で健康かつ安全・安心で質の高い生活の実現を目指し、生体工学、生物学、材料化学、物理学、などの知識や知見を結集・融合することによって人間や生活環境についての科学的理解を深め、それに基づいて、人と適合性の高い製品や生活環境を創出するための研究開発を行います。

具体的には、医療基盤・ヘルスケア技術の開発のうち、1) 医療機器の高度化とレギュラトリーサイエンス、2) 健康状態の可視化、3) 生活環境における健康増進、を、研究開発の柱としました。大学や産業界とも連携し、基礎研究から橋渡し研究を進め、健康工学研究領域の確立、並びに21世紀における新たな健康関連産業創出に貢献することを目指します。

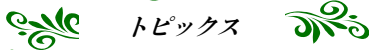
また、本研究部門は、四国、関西、つくばに研究開発拠点を置き、地域の健康関連産業の活性化への貢献を着実に推進することも任務とします。これからも職員一同、全力で課題に取り組んでまいります。皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



2015年4月号
2015.4.10
NO.125-2

AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



トピックス

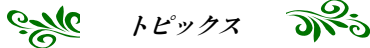
法人の名称が変更になりました 新名称“国立研究開発法人”産業技術総合研究所

平成27年4月1日から、弊所の法人名称が変更となりましたので、お知らせいたします。これを機に一層の飛躍と、研究活動を通じての社会貢献に、職員一同努力いたす所存でございます。今後ともご愛顧を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



国立研究開発法人
産業技術総合研究所

(旧名称 独立行政法人産業技術総合研究所)



トピックス

研究グループを再編しました ～健康工学研究部門の新体制～



平成27年4月1日付けにて、健康工学研究部門、ヒューマンライフテクノロジー研究部門、バイオメディカル研究部門を再編しました。医療機器・ヘルスケア技術に関係するメンバーが合流し、新たな健康工学研究部門として研究をスタートしています。

各研究グループの研究内容については、次回5月号にて紹介いたします。

つくばセンター

セラノスティックデバイス
研究グループ

人工臓器 研究グループ

生体材料 研究グループ

界面・材料 研究グループ

関西センター

ストレスシグナル 研究グループ

2015年4月号
2015.4.10
NO.125-3

AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>



トピックス



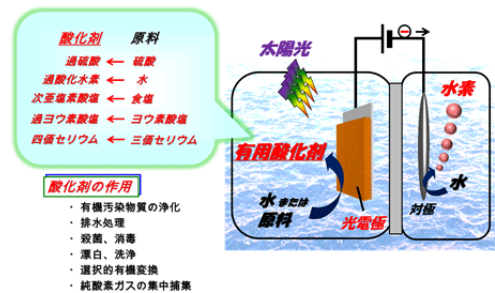
産総研の最近の主な研究成果 (平成27年3月のプレス発表より)

<発表・掲載日：2015/03/06>

光電極を用いた酸化剤と水素の効率的な製造方法を開発 —太陽光による高付加価値品製造の実現に近づく—

【ポイント】

- ・無尽蔵の太陽光を用いて、高付加価値な化学薬品と水素を同時に製造する高性能光電極技術
- ・化学薬品として過硫酸、次亜塩素酸塩、過酸化水素、過ヨウ素酸塩などの酸化剤を製造可能
- ・小さな電解電圧で多様な高付加価値の化学薬品を製造することで経済性向上が期待



【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20150306/pr20150306.html

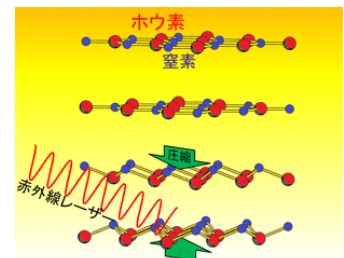
(エネルギー技術研究部門)

<発表・掲載日：2015/03/18>

赤外線レーザー照射に層状物質の構造制御の可能性 —格子振動が層間引力を生み出す仕組みをシミュレーションにより解明—

【ポイント】

- ・強度をコントロールした赤外線レーザーで層状物質の構造を操る技術を理論的に提案
- ・物質の格子振動を赤外線レーザーで誘起することにより層間引力を増大することが可能
- ・原子同士の層の隙間を利用した化学反応による新たな材料開発の可能性



【詳細はこちら】

http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2015/pr20150318/pr20150318.html

(ナノシステム研究部門)

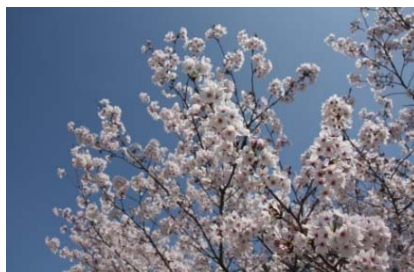
【産総研の研究成果記事一覧】

産総研 プレス

検索

CLICK!!

http://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html



2015年4月号
2015.4.10
NO.125-4

AIST SHIKOKU NEWS

<https://unit.aist.go.jp/shikoku/>

他機関の情報 (再案内)

四国マイクロ波プロセス研究会第14回フォーラム 開催のご案内

(主催：四国マイクロ波プロセス研究会)

- 日 時：2015年4月17日(金) 13:15~16:30
- 場 所：e-とぴあ・かがわBBスクエア
(香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟4・5階)
- 参加費：無料

【申し込み・プログラム等の詳細はこちらから】

四国マイクロ波プロセス研究会

検索

CLICK!!

<http://www.d1.dion.ne.jp/~shunkato/>

他機関の情報

「高松5:30クラブ」開催のご案内

(2015.4.28 高松サンポート合同庁舎)

- 日 時：2015年4月28日(火)
第1部：16時00分から(大豊産業(株)の乾社長による講演会)
第2部：17時30分から交流会

- 場 所：高松サンポート合同庁舎
(高松市サンポート3-33)

- 参加費：1,000円

【申し込み・プログラム等の詳細はこちらから】

高松5:30クラブ

検索

CLICK!!

<http://www.tri-step.or.jp/event/530club.html>

その他

出版物のご案内

産総研Today 4月号

産総研で行われる研究開発を、研究者の言葉でお届けします。また産総研の経営情報やいろいろなニュースも交えて、様々な角度から産総研を紹介する月刊広報誌です。今月号は産総研の新たな中長期計画の特集などが掲載されています。

【詳細はこちらから】

AIST Today

検索

CLICK!!

http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/at_research_main.html

